

早稲田大学 大学院教育学研究科 出題意図および解答例

年 度	2027年度
試 験 日	2026年9月19日
研 究 科	教育学研究科
課 程	修士課程
専攻・コース等	国語教育専攻
入 試 制 度	外国学生
試 験 科 目	専門科目
出題意図及び解答例（解答のポイント）	
【注意事項】 ※公開する解答例には、別解がある場合があります。 ※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。 ※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp	
■出題意図	
〔選択一〕 国語教育 国語科教育学に関する基本的な知識を確認するとともに、国語科の学習の在り方について、自ら観点を整理した上で論理的に説明できる力を評価・判定する。 〔選択二〕 日本語学 日本語学（日本語教育を含む）の基礎的な知識を確認するとともに、一つのテーマについて、通時的・共時的両方の視点から多角的・論理的に思考し説明できる応用力を評価する。 〔選択三〕 古典文学(Ⅰ) 上代文学 上代文学の文学史や基本的な知識を確認する。あわせて、それらを的確に説明できる力を評価する。 〔選択四〕 古典文学(Ⅱ) 中古文学 中古文学の文学史や基本的な知識を確認する。あわせて、それらを的確に説明できる力と古典教育の中で生かす力を評価する。 〔選択五〕 古典文学(Ⅲ) 中世文学 中世文学に関する基本的な知識を確認するとともに、理論的・実証的な文献や資料を的確に読み取り、自らの観点から論理的に説明できる力を評価・判定する。 〔選択六〕 古典文学(Ⅳ) 近世文学 近世文学の文学史や基本的な知識を確認する。あわせて、それらを的確に説明できる力を評価する。 〔選択七〕 中国古典文学 問一では、オーソドックスな古典（文言）文を精確に解釈・訓読できるか否かを問うとともに、文学史の常識を問う。問二では中国古典文学ならびに漢文教育に関わる基本的な問題について、日頃どれほど考察を深めているかを問う。問三では中国古典学に関わる基本項目をどれほど把握しているかを問う。 〔選択八〕 近代文学 近代文学に関する基本的な知識を確認するとともに、理論的・実証的な文献や資料を的確に読み取り、自らの観点から論理的に説明できる力を評価・判定する。 〔共通A〕 日本語学 日本語学（日本語教育を含む）の基礎的な知識を確認するとともに、易しめの日本語学専門書の文章を読み解くことで、日本語読解力・内容理解力・具体例を用いた説明力・論理的思考力・日本語表現力を評価する。	

〔共通B〕中国古典文学

中国古典文学に関する基本的な知識を確認するとともに、理論的・実証的な文献や資料を的確に読み取り、自らの観点から論理的に説明できる力を評価・判定する。

〔共通C〕近代文学

近代文学に関する基本的な知識を確認するとともに、理論的・実証的な文献や資料を的確に読み取り、自らの観点から論理的に説明できる力を評価・判定する。

■解答例（解答のポイント）

〔選択一〕国語教育

問一・問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・国語科教育学で研究を遂行するための基礎的な知見に関する理解と、それを適切に説明することができるかという観点から評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・国語科の授業そのものの実践的および理論的な知見を統合させ、適切に論じることができているかどうかを観点に評価した。

〔選択二〕日本語学

問一 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本語学（日本語教育を含む）分野の基礎的な術語等理解と、表現力を評価した。

問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中程度の大きさの各テーマについて、それらに対する知識のみでなく、通時的・共時的両方の視点から多角的・論理的に思考し説明できる応用力の確認。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本語学（日本語教育を含む）分野の研究領域・研究対象・研究方法、及び研究意義や応用可能性についてどの程度具体的に把握しているかを確認するとともに、それらについて、日常使用している「日本語」表現を例にどの程度的確に説明できるかを評価。

〔選択三〕古典文学(Ⅰ) 上代文学

問一・問二 論述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・上代文学の中で重要なテーマや作品、作者について正確に理解し、それを的確な日本語の文章で論理的に説明できているかを確認し評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・上代文学の享受史を正確に把握し、現代においてそれを研究・学習・教育することの意義を見出し、自らの言葉で的確に伝えることができているかを確認し評価した。

〔選択四〕古典文学(Ⅱ) 中古文学

問一・問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中古文学の中で重要なテーマや作品、作者について理解できているかを確認し、評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・古典教育に関する知見と経験、それを敷衍する思考力、知識や考えを適切に表現する文章力を評価した。
- ・中古文学、国語教育に関する知見、自らの経験等を組み合わせる思考力、適切に表現する思考力を評価した。

〔選択五〕 古典文学(Ⅲ) 中世文学

問一・問二 特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中世文学分野の基礎概念・基礎知識に関する的確な理解と、それを適切に記述する文章力を評価した。

〔選択六〕 古典文学(Ⅳ) 近世文学

問一・問二 論述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近世文学の中で重要なテーマや作品、作者について正確に理解し、それを的確な日本語の文章で論理的に説明できているかを評価した。

問三 論述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近世文学を現代において研究・学習・教育することの意義について、具体的な事例にそくして自らの言葉で的確に伝えることができているかを評価した。

〔選択七〕 中国古典文学

問一

〔設問一〕 ※ピンインは省略。

公卿大夫より工商に至るまで、諫むるを得ざる者無し。

〔設問二〕

この官（諫官）の職に在る者は、より大きなことに志し、微細なことは棄てさり、緊急のことを優先し、慌てなくても良いものを後回しにし、もっぱら国の利益を第一に考え、自分の利益のために考えないようにすべきである。

〔設問三〕 別紙参照（本紙末尾）

解答のポイント/評価のポイント

- ・「猶」が再読文字であることを認識し、「汲汲」という二字熟語から返るように適切に返り点を施せるかを重視する。

〔設問四〕 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・司馬光の時代は士大夫作家輩出の時代である。それを踏まえ、文史哲に跨がる功績を過不足なく説明できているかを評価する。

問二・問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・基本的な知識・事実を正確に把握し、過不足なく説明できているか否かを評価した。

〔選択八〕近代文学

問一 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近代文学分野に関する基本的な知識への理解と、表現力を評価した。

問二・問三

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本近代文学史上の重要事項について適切に理解できているかを評価した。

〔共通A〕日本語学

- ・日本語の多義動詞の意味分類とその派生語について論じた文章を読みながら、現象素・意義素の捉え方、動詞の自他の性質、漢字表記と意味分類、前景化と背景化、派生語の出自、同音異義語と多義語の違い等、日本語学にとって重要な各テーマにも視野を広げ、それらに対する知識のみでなく、論理的に思考し説明できる応用力・批判力を評価した。

問1 原典に基づいた一義的な解答を示すことも可能だが、今回は解釈によっては許容解も認められるため解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本語学の術語（文法用語）の確認。

問2

ア…図る イ…計る ウ…測る エ…量る オ…諮る カ…謀る キ…図る ク…計る
ケ…謀る コ…謀る サ…計る シ…測る ス…量る セ…量る ソ…量る
（サ・シ・スは順不同でも可）

問3 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・他動詞であっても、動作主と目的語を明示しない場合も多く、この場合、受身形「まんまとB（目的語）が計られた」を能動形にしたとき、「A（動作主）がB（目的語）を計った」とはなりにくい点を説明する。

問4 記述問題につき解答例は示せない

解答のポイント/評価のポイント

- ・本文から筆者の考え方を読み取る。

問5 原典に基づいた一義的な解答を示すことも可能だが、今回は解釈によっては許容解も認められるため解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本語学の術語（文法用語）の確認。

問6

i …おしはかる ii …はかどる iii …はかがゆく iv …はかばかしくない v …はからう
vi …見はからう vii …取りはからう
（ii・iiiは順不同でも可）

問7 各自の作業範囲を決める（11字）

問8 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・本文の著者の考え方を正確に捉えると同時に、自説をまとめる表現力を評価。

〔共通B〕中国古典文学

問1～4 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中国古典文学に関する論説文を的確に読解する能力、理解した内容を敷衍する思考力、それを表現する文章力を評価した。

問5 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・中国古典文学に関する論説文を的確に読解する能力、理解した内容を踏まえて自説を展開する思考力、それを表現する文章力を評価した。

〔共通C〕近代文学

問一 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近代文学作品の基本的な読解能力とそれを表現する文章力を評価した。

問二 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・近代文学作品の基本的な読解能力に加え、理解できたことがらを作品の他の表現と結びつけて敷衍する思考力、それらを表現する文章力を評価した。

問三 記述問題につき解答例は示せない。

解答のポイント/評価のポイント

- ・日本近代文学研究の方法にかかる重要事項について適切に理解できているかを評価した。

以 上

別紙

〔選択七〕 中国古典文学

〔設問三〕 解答

彼^ノ汲^{タル}汲^ニ於^ハ名^ハ一者、

猶^ホ三汲^{タルガ}汲^ニ利^ニ一也、其間相去^{ルコト}何遠^{ソカラ}哉。